

天正十一年仲秋乃出陣... 此は... 野乃龍... 小條氏康... 天正十一年仲秋乃出陣... 此は... 野乃龍... 小條氏康...

野乃龍 小條氏康

天正十一年仲秋乃出陣... 此は... 野乃龍... 小條氏康... 天正十一年仲秋乃出陣... 此は... 野乃龍... 小條氏康...

天正十一年

一ツヨリノ長子ナリ 宿願乃申す かのこはる
 まうりてきるもの けりていせあつらひに かく成り
 母といはるゝと 魚つらつら ぎんすほひの
 と ねのていぬも ねのていぬのていぬのていぬ
 らいんていぬのていぬのていぬのていぬ 島若
 古寺古跡と 師光ある ねて成法乃小松井入
 彦と田子の海軍の 宿願乃申す かく成り
 していせあつらひに かく成り かく成り
 かく成り かく成り かく成り かく成り
 比るの上旬の かく成り かく成り

いとせとていぬのていぬのていぬのていぬ
 と かく成り かく成り かく成り かく成り
 かく成り かく成り かく成り かく成り
 かく成り かく成り かく成り かく成り
 かく成り かく成り かく成り かく成り
 かく成り かく成り かく成り かく成り
 かく成り かく成り かく成り かく成り

かく成り かく成り かく成り かく成り

卷三十一
 十一

今は八月申旬下りも成ぬ小田原にあり
つふふけり

右武蔵野紀行以枚素拾葉集授合了

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

東國陣道記

玄旨法印

二月廿九日尾別勢田に居陣社勢為揆授乃家
にふりしけりあるし海と社僧寶慈坊から
きく難談乃次當社の内八叙宮日不食言
をられり為徳あつて後幾句重河の是れハ
つうへえんいく衆の孫めら屯乃君

晦日冬別小つらつて細川乃若れ流と変く

[Faint bleed-through text]

三月初日冬はさ川とわらねく

[Faint bleed-through text]